

# 第97回すぎなみ区民歩こう会 ワンポイント・ガイド

## 1. コウノトリ

国の特別天然記念物で絶滅危惧種。昭和46年に国内野生種は絶滅。兵庫県豊岡市で10年前から放鳥を続けています。野田市では平成24年に飼育を始め3年連続で繁殖に成功しました。主に樹上に雌雄で造巣します。

### ツルに間違われたコウノトリ

コウノトリは白と黒の大きな鳥のため、昔からツル(タンチョウ)と間違えられて木にとまるツルの表現はコウノトリの間違いだった事をいくつかご紹介します。

- **タンチョウ** ツル科・・鳴く、雑食、全長 約125cm~152cm、体重6~9kg  
足の親指が短く木に止まれません。
- **コウノトリ** コウノトリ科・・動物食、鳴かない、全長 約110cm~115cm、体重 約4~6kg、足の親指が長く木に止まります
- **鶴** コウノトリを遠くから見るとツルとも似ているため、度々ツルと混同されることもありましたが、しかし、形態、鳴き声、捕食行動により区別出来ます。

具体的には、現在の日本で観察されるツルは道東の留鳥であるタンチョウと、冬鳥として山口県や鹿児島県出水市に渡来し、その他兵庫県にもいるマナヅルおよびナベヅルである。これらのうち、タンチョウは頭部が赤く、首が黒く、脚が黒い。ナベヅルは頭部が赤く、胴体や羽の大部分が黒色から灰色であり、脚が黒い。そしてマナヅルは胴体や羽の大部分が黒色から灰色です。これらに対し**コウノトリは、首と胴体が白色であり、脚は赤い**ため、形態により区別は容易です。

また、鳴き声でも区別することができます。ツルは大きな声で鳴くことができるが、成鳥のコウノトリは鳴くことはできず、クラッタリングというくちばしを打ち付ける行為のみができます。

- **サギ** サギとコウノトリは、水辺に生息し、水棲動物を食べる大型の首の長い鳥という特徴において共通しています。しかしサギは飛んでいるとき首を曲げているのに対しコウノトリはくびを伸ばして飛んでいます。
- **花札**の1月の柄でもおなじみの「松と鶴」の組み合わせですが、おめでたい日本画として「松上の鶴」の代表格としては、「旭日松鶴図」があります。

松の上に鶴がとまり真っ赤な朝日が描かれている絵で、現代でも日本画によく描かれる構図です。

こちらもやはり木にとまれない鶴を木の上に描いていることから、コウノトリをモデルに描かれたと推測されます。

### コウノトリの名称 ~エピソード~

- 兵庫県鳥がコウノトリ。
- 但馬空港 (コウノトリ但馬空港)
- 豊岡市の市鳥。
- 九州石油 (現・JX エネルギー) ブランド名"STORK"はコウノトリ意。
- 宇宙ステーション2号機 - 愛称が「コウノトリ」
- 「コウノトリが赤ん坊を運んでくる」などの伝承は、シュバシコウ (雑種) について語られたもの。



伊藤若冲作「旭日松鶴図」

